

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（総評）

【社 会】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
2 東京書籍	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題や「まなびのポイント」、アニメによるキャラクターの吹き出しを具体的に示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という段階を踏みながら単元を進める展開になっており、課題意識をもって学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	<p>5 年上 p114</p>
	<p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、「まとめる」場面において多様な表現活動を提示したり、「いかす」場面において児童が自分にできることなどを考え、選択・判断する活動を設けたりするような工夫が見られる。また、単元の末尾に「ひろげる」コーナーを設け、児童が発展的な学習をさらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>	<p>5 年下 p124, 125 5 年上 p108～113</p>
	<p>(3) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的には2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。「まとめる」段階に学習問題を再提示したり、単元で出てくるキーワードが示された「ことば」欄を配置したりすることで、学習内容を振り返りやすくする工夫が見られる。</p>	<p>5 年下 p62, 63</p>
	<p>(4) 単元の構成に関しては、思考力や応用力を養うために、教科書内には問いかけや演習問題が用意されていることで、自ら考え、意見を述べる機会を得ることができる構成になっている。また、宮崎牛が発展的な教材の1つとして取り上げられている。児童が社会に関する知識を体系的に学び、実際の現象や問題に対してより深い理解ができるような工夫が見られる。</p>	<p>5 年上 p113</p>

17 教育出版	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題や子どものキャラクターの吹き出しで考える視点を示すなどして、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という段階を踏みながら単元を進める展開になっており、単元を通して一貫した追究ができるような構成・配列の工夫が見られる。</p>	5 年 p171
	<p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、複数の立場や意見を踏まえた対話的な学習ができるよう、「まとめる・つなげる」を中心に学習の整理の仕方や多様な表現方法が例示され主体的に選択・判断できるような工夫が見られる。また、単元の末尾に「もっと知りたい」コーナーを設け、児童が関心や意欲に応じて活用できる発展的な資料を提示することで、学びを人生や社会に生かし「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p>	5 年 p119 5 年 p120, 121
	<p>(3) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に 2 ページ見開きによる 1 単位時間の構成としている。各学年の巻頭ページに「社会科で使う見方・考え方」や「社会科の学習の進め方」を例示したコーナーを配置することで、見通しをもちながら学習が進められるような工夫が見られる。</p>	5 年 p5～7
	<p>(4) 単元の構成に関しては、地域の取組やインタビュー、グループディスカッション等を通じて、現実の社会的な活動や問題解決について学ぶことができるような構成になっている。また、環境教育や行政財産の活用の一例として、都城市の小学校が取り上げられている。児童が自ら考え、調査や探究活動を行うことができ、主体的な学びが促されるような工夫が見られる。</p>	6 年 p281

116 日本文教出版	<p>(1) 側注に毎時間の学習問題を示したり、動物のキャラクターの四角囲みで見方・考え方を具体的に例示したりするなどして、学習問題を解決しながら単元を進める展開になっており、「調べたいこと」「調べ方」「まとめ方」などの見通しをもって学習できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、児童が互いに話し合い、多面的に考えたり理解したりできるよう「深め合い」活動のコーナーが提示され、社会との関わり方を選択・判断する活動ができるような工夫が見られる。また、単元の末尾に「未来につなげる」のコーナーを設け、児童が課題意識をもった内容をさらに追究していく活動を提示することで学びを人生や社会に生かし「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 表記・表現等については、各ページにおいて基本的に2ページ見開きによる1単位時間の構成としている。単元の始めに「学習のまど」を提示したり、「見方・考え方コーナー」を随所に設定したりすることで、問題意識を焦点化し、見通しをもって学習を進められるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 単元の構成に関しては、問題解決的な学習のモデルが示され、児童が自主的にテーマを選び、調査や発表を行うことで、主体的な学びと協働的な学びを促すことができるような構成になっている。また、宮崎牛が選択教材として6ページにわたり取り上げられている。児童が社会に関する知識を深め、社会的な思考力や問題解決能力を向上させるような工夫が見られる。</p>	<p>5年 p79</p> <p>5年 p132, 133</p> <p>5年 p192, 193</p> <p>5年 p69</p> <p>5年 p106～111</p>
------------	--	--